

会員の皆様、新型コロナウイルス禍と猛暑の中、お元気で過ごしてはいかがでしょうか。
 昨年来途絶えていた傾聴ボランティア通信「野原の歌」をようやくお届けすることができるようになりました。
 感染拡大防止のため、役員会など中止、延期としており、長野県傾聴ボランティア連絡協議会はどうなっているのかと会員の皆様にご心配をおかけしたことと思います。
 野原の歌19号は各地区の代表メッセージと地区の状況などを掲載します。この先の見通しも持てない現在では

ありますが、長年積み上げてきた私たちの傾聴の火は灯し続けていきましょう。必ず、穏やかな日々が戻ることを信じて。

北信代表 菅原 眞一
 コロナはいつ終息するのだろうかと待ち望んでいる方も多いと思います。自粛、自粛、本当に長いですね。しかし、傾聴対象者の方も同じ気持ち、いや私達よりもっと強くそう思っているのではないのでしょうか。聴いてほしいことがたくさん溜まっているのに誰も来てくれない、と傾聴でポジティブになった気持ちがネガティブに傾いているかもしれません。また認知症の方は病が進んでしまっているかもしれませんね。心配なところですが、そんな中私たちができること、この時間を有効に使ってはどうか。私たちが待っている方々がたくさんいらっしやるのですから。

東信代表 三宅 秀明
 東信地区では、「変化の時こそ原点・基本へ」との思いで「原点は個人傾聴」と、活動を施設・グループから個人へと活動をシフトしています。「不要不急なものほど生活の豊かさ」、「困難な環境ほど傾聴は必要」と前に進むとする皆さんに励まされます。
 同時にこの機会に、会員のスキルアップと新たな傾聴者のための研修機会のニーズも高まっています。
 今の困難を、これからの新しい傾聴ボランティアの活動を考え、強化する良い機会と捉え、前を向くことの大切さを感じています。

中信代表 県代表 長谷川 昭
 コロナの真ただ中、東京を始め沖縄まで皆さんも戦々恐々としていると思います。そんな中、先日まで木曾のグループは制限の中傾聴活動をしていましたが再び中止となりました。傾聴活動ができないのなら、各グループで、少人数でもいいので3密を避けて勉強会をしてはどうでしょうか。自分自身・会員同士で「今の傾聴はこれでいいのか」お互いに振り返り、話し合いをしたらどうか？ 中信地区ではこんなことを実行しようとしています。いい機会です。皆さんもしたらどうでしょうか。傾聴活動をお互い同士スキルアップしたら・・・
 このように考えます。いまがチャンスです。

南信代表 木戸 亮
 今、沈黙の中にある傾聴ボランティアの場施設内で、ニコニコ目をまるくしてお話してくれる利用者さん！ 訪問予定日になると目に浮かんでくる。そして5ヶ月過ぎた。協会の講師、鈴木先生の講義の中に『家族にはなかなか傾聴はできないわよ・・・』を耳にした。「近すぎる～照れくさい～今さら～」などなど。みなさんも同じですか？ それに対する解説はやめ、それぞれ自由に判断して下さい。頭のすみに“聴くことの大切さ”をおきながら利用者さんやグループメンバーとの明るい再会を待ちましょう。きっと戻って来ます！

各地区の状況 2020, 8月中旬現在		感染状況は、地域により、また時期により変化しているため、会報発行時とは違った状況になっていることをご確認ください
地区	傾聴活動	定例会 研修 今後の方向 等
北信	施設訪問休止 個人宅訪問 6月より短時間訪問	4月・5月休会 6月より短時間で再開（3密を避けて短時間で 飲食無し） ビデオ研修 新人研修ロールプレイング
東信	施設訪問休止（7月再開するも再び休止） 個人宅傾聴の実施と拡大 筆談傾聴 台風被災者避難住宅訪問 施設個室を借りてなど	定例会再開地区、再開後改めて中止の地区など 基礎講座の開催見合わせ
中信	施設訪問原則休止 施設の許可があるところは回数を減らして実施 個人宅訪問 回数を減らして実施	定例会・月例会は実施しているグループもあり
南信	訪問活動休止 個人宅訪問ではグループにより工夫あり	定例会は中断 7月は開催、今後は状況を見て開催か否か判断 役員会は開催 基礎講座協力 会報・通信などは毎月発行(会員同士の連携・情報共有)

「野原の歌」 掲載原稿募集

会報「野原の歌」に掲載する原稿を募集します

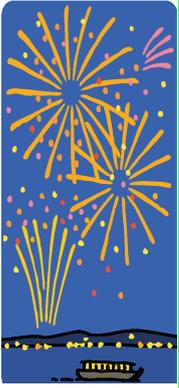
- あなたのグループで発行している会報・通信などの例
 今月は「傾聴みみずく」（岡谷 下諏訪 諏訪）の通信を掲載しています。
- 定例会の内容・様子
- 「私にとっての傾聴」（個人のエッセイ等）
 グループメンバーの連携をはかる・絆を強める・傾聴活動のモチベーションを持続させる等工夫している事例を紹介させてください。

応募方法：実際の誌面を データ（pdf）送付 または郵送で （FAX 不可）

応募期日：2020年11月末

送付先：広報担当 弓削淑子 (TEL FAX 0266-74-1122) mail yugetora@po30.lcv.ne.jp

投稿お待ちしています



みみずく通信2号（発行 令和2年6月13日） より抜粋

今月の内容

1. 会員の皆さんへ
2. 「傾聴ボランティア活動上の諸々のことを考える」
 協会紙4月号（2020年）特集記事抜粋
3. 「皆さんの声」会員からの寄稿文
 - 近ごろ 考えた事
 - 川柳は暮らしの詩
 - ステイホームの中、東京出張
 - 思いがけないコロナさん でも終息は幸せをもってやってきます（絵手紙）
 - 傾聴ボランティアを経験して
4. 岡谷社協主催「傾聴ボランティア基礎講座」からの依頼

マスク着け誰かわからず気楽なり

傾聴ボランティアを経験して

…施設にいるお年寄り（中略）ただ座っているだけの人、そう思いついて私だった。が、訪問を繰り返す毎、皆さんそれぞれが個性も豊かに、体の機能は低下していても、長い間生きてきた人生に裏打ちされた揺るぎない人格を持った一人ひとりがかけがえのない存在である事を痛切に認識させられる所となった。（中略）一人ひとりがまざれもない自分を懸命に生きている。こういう認識や気付きに導かれるのも「相手が主人公」という傾聴の持つ力の故ということであるか、傾聴恐るべし！こういう経験が待っていてくれるとは思わなかった。（後略）

かわいい花咲かせてるから
 思わず書いてふふふ
 当たり前と思っていたこと
 とても大切に 尊い事
 自分の命も りんごの
 花も…
 大切な
 自然の中
 の命

今美りんごは
 かお花は
 今を生きよう

「コロナウイルスとの共存下における
 傾聴ボランティア活動について」

日本傾聴ボランティア協会発行
 「月刊傾聴ボランティア2020年7月号」に掲載されています。参考されてはいかがでしょうか。

マスクをして話す Point

(インターネットより)

マスクをしていると、どうしても声がかもって聞き取りにくくなってしまいます。これは口をあまり開いて話さないため、音が口の中でストップしてしまうことが原因です。声を通りやすくするには、普段よりも1トーン高めの声を出すこと。話す時に口角を上げて笑顔になるだけで1トーン高めの声が出ます。またマスクをしていると見えてるのは目だけなので、挨拶などのときは特に「目」も笑うように意識しましょう。

基礎講座 運営レポート

研修部 三宅秀明

3月から開催を見合わせてきた、飯山市、伊那市、岡谷市のまとめ講座は、下記の感染対策をおこない、再開しました。

①グループワークで実習内容を話し合うことは、近接会話が不可避な為、事前に実習レポートを提出していただき、その内容に基づき講師が話をする形に変更

②施設実習ができなかった岡谷では、傾聴みみずくのご協力のもと、模擬実習を実施

■ 7月18日飯山市、8月22日岡谷市、9月5日伊那市の順で開講し、新たに64名の方が修了、又は、修了予定。

■ 今までの受講者の方から、新たな傾聴活動への参加があり、原村、飯山、伊那などで合計12名の方々が傾聴活動に加わっていただいています。

2次感染の急激な拡大で、今年度開講予定の長和町や、新たに開講予定を立てている地域では、開講の見通しは立っていない状況もあります。

感染症という新しい環境に負けず、知恵と創意で新しい基礎講座のやり方を提案していきます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



会報担当 弓削淑子

TEL FAX 0266-74-1122

mail yugetora@po30.lcv.ne.jp

☎ 391-0115 諏訪郡原村山17217-2199

長野県傾聴ボランティア連絡協議会

代表 長谷川 昭 TEL FAX 0264-48-2133

携帯 09043981187

mail kimama2@ot.kiso.ne.jp

☎ 397-0201 木曾郡王滝村 4100-13

